

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2022.8.31



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



みしょう

未生の美—技能五輪の技

2022年10月15日[土]—11月27日[日]

開館時間：午前10時—午後5時30分[入場は午後5時まで]

休館日：月曜日

主催：豊田市美術館

共催：中日新聞社

特別協力：トヨタ自動車株式会社

観覧料：一般300円[250円]／高校・大学生200円[150円]／中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金

障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料(要証明)。

*その他、観覧料の減免対象者及び割引等については豊田市美術館ウェブサイトをご確認ください。

*感染症拡大防止のため会期、関連事業の内容、来館者の受入態勢等を変更する場合があります。当館ウェブサイトから最新情報をご確認ください。

本展覧会は、同時開催の「ゲルハルト・リヒター」展の観覧券でご覧いただけます。

開催趣旨

愛知県は製品出荷額が全国有数の工業地域です。なかでも豊田市は自動車産業が盛んな「モノづくり」の中心地です。古くは猿投古窯に代表される焼き物、近代には養蚕業と、伝統的に産業が盛んな地域でした。現在、「モノづくり」の現場ではさまざまな工程の自動化が進み、人の手による作業が機械に置き換わる領域が増えています。しかし、手作業の重要性が失われることはありません。どんなに機械化が進み、ロボットが作業を代行するようになっても、そのロボットに動きを教えるのは人間です。自動化とは、人の手わざの滑らかな動きをまねることだとも言えるでしょう。また、自動化されたシステムを制御する技能も同様です。製造業の企業では、そういった技能の重要性を認識し、それを会社として伝承していこうとしています。2年に一回開催される技能五輪国際大会は、訓練を重ねた若い技能労働者たちが世界中から集い、腕を競う場で、そこで生み出された「モノ」は超絶した精確さを具えています。

本展は、モノづくりにおける人の手わざの重要性を再認識し、その意味や役割を知ると同時に、それらが持つ精確さの中に「美」を見出し、卓越した技能が生み出す「モノ」に新たな光をあてようとするものです。技能者の手による正確無比な製作物と、それらに触発された美術作家による写真や映像作品との共演をお楽しみください。

展覧会のみどころ

- 技能五輪やその種目について、解説パネルを用いて分かりやすく説明します。
- 技能五輪で実際に出された課題（製作物）を展示して、技能の精巧さを見ていただきます。
- 技能者の手による製作物と、それらに触発された美術作家による写真や映像作品とを同じ空間に展示して、卓越した技能に秘められた「美」に光をあてます。

展示予定作品

約50点（技能者の製作物約25点、美術作家の作品約25点）

関連イベント

詳細が決まり次第、ウェブサイトに掲載します。

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

ウェブサイト:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan@city.toyota.aichi.jp

- 展覧会に関すること 学芸担当：北谷（きたたに）、成瀬 Tel 0565-34-3131
- 掲載依頼・取材等に関すること 庶務担当：吉兼（よしかね）、小川 Tel 0565-34-6748



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

「未生の美—技能五輪の技」 広報用画像について

当館ウェブサイト「[広報用画像ダウンロード](#)」[申込みフォーム](#)より、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンからのお申し込みが難しい方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 庶務担当 吉兼(よしかね)、小川

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前	様	ご所属
Tel		Fax
e-mail		必要な画像等の番号
掲載紙／メディア名		発売日、放送予定日 月 日 (月号・vol.)
必要な観覧券枚数(最大5組10名分)	枚	観覧券の送付先 〒

*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



1



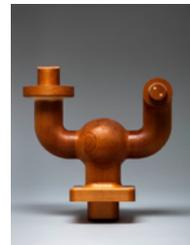
2



3



4



5



6



7

- 1 山本糾《未生の美001》2022年、ラムダプリント
 - 2 山本糾《未生の美024》2022年、ラムダプリント
 - 3 山本糾《未生の美080》2022年、ラムダプリント
 - 4 山本糾《未生の美090》2022年、ラムダプリント
 - 5 山本糾《未生の美091》2022年、ラムダプリント
 - 6 岩田隼之介《産業革命史》2022年、映像作品
 - 7 青木兼治《Diamonds in the Rough》2022年、映像作品
- ※いずれも、美術作家が製作物や制作過程を撮った作品です。

資料の使用には以下の点に注意してください。

- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮いただき、クレジットを表示してください。
- ・紹介していただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 画像送付 校正 修正 配信・配本